



令和8年度

全国学力・学習状況調査の
結果概要（令和8年9月改定）

令和8年9月30日
山梨県教育委員会

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について 山梨県教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和8年4月23日(木)

※英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」は、4月20日(月)～23日(木)のうち1日

※英語「話すこと」は、当日実施校が4月24日(金)、27日(月)のうち1日、期間内実施校が4月28日(火)～5月29日(金)のうち1日

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(3) 調査の対象

- ・小学校6年生、中学校3年生

学校種 (公立のみ)	小学校等			中学校等		
	小学校	義務教育 学校	特別支援 学校	中学校	義務教育 学校	特別支援 学校
調査対象学校数	164校	1校	2校	77校	1校	2校
集計対象学校数	164校	1校	2校	74校	1校	2校
調査対象児童生徒数	5,984人			5,942人		
集計対象児童生徒数	5,616人			5,102人		

※学校数には、分校を含む

※後日実施となった学校・児童生徒の数は、集計対象に含まない

(4) 調査事項

①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中学校のみ※令和5年度以来の実施）〕
質問調査

②学 校：質問調査

(5) 調査問題

- ・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出题
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信

(6) 今年度の調査の特徴

- ・中学校・英語（4技能（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと））の全面 CBT（Computer Based Testing）化 ※「話すこと」調査のみ令和5年度も CBT で実施
- ・小学校・児童質問でのランダム方式の導入

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査

○本県及び全国（公立）の平均正答数（率）・平均 IRT スコア

全ての教科において、本県の平均正答率（平均 IRT スコア）は全国の平均正答率（平均 IRT スコア）と概ね同等である。

令和 8 年度 本県及び全国の調査結果（公立）

		小学校調査		中学校調査		
		国語	算数	国語	数学	英語 4 技能
平均正答数・ 平均 IRT スコア	本県	7.7/13	8.5/16	9.5/15	8.9/16	494
	全国	7.9/13	9.0/16	9.6/15	9.1/16	499
平均正答率	本県	60	53	63	56	
	全国	60.9	56.4	63.9	57.0	
都道府県に おける 正 答 率 ・ IRT スコア のばらつき	第 3 四分位	61.7	56.8	64.5	58.2	
	第 2 四分位	60.6	55.1	63.5	56.2	
	第 1 四分位	59.3	54.1	62.0	54.3	
	標準偏差	2.1	2.2	1.9	2.8	

中学校英語は、IRT（項目反応理論）に基づき、500 を基準とする IRT スコアで表示

※各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意が必要。

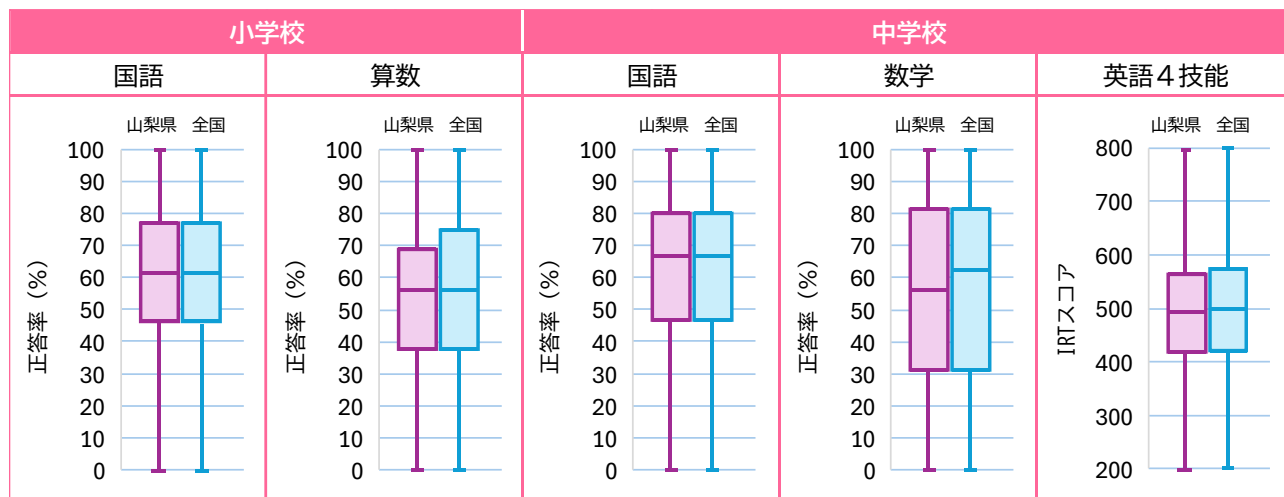
※都道府県の平均正答率については、文部科学省が平成 29 年度から整数値で公表している。

※後日実施した学校のデータは、全体の集計からは除外されている。

※IRT：項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさし（尺度）で比較できる。

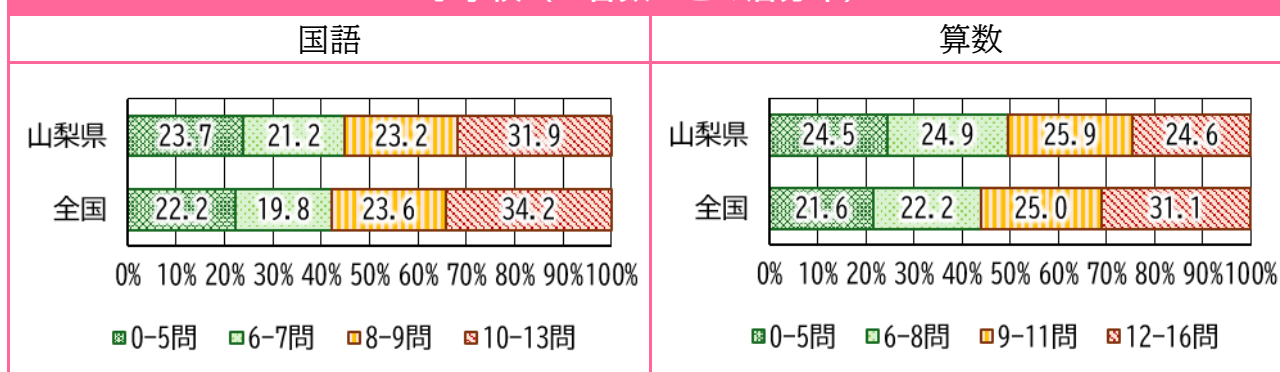
※IRT スコア：IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。各教科に CBT・IRT を導入する年の全国平均 500 を基準値とし、経年比較が可能な形で算出。

○全国及び本県（公立）の正答率・IRT スコアの分布

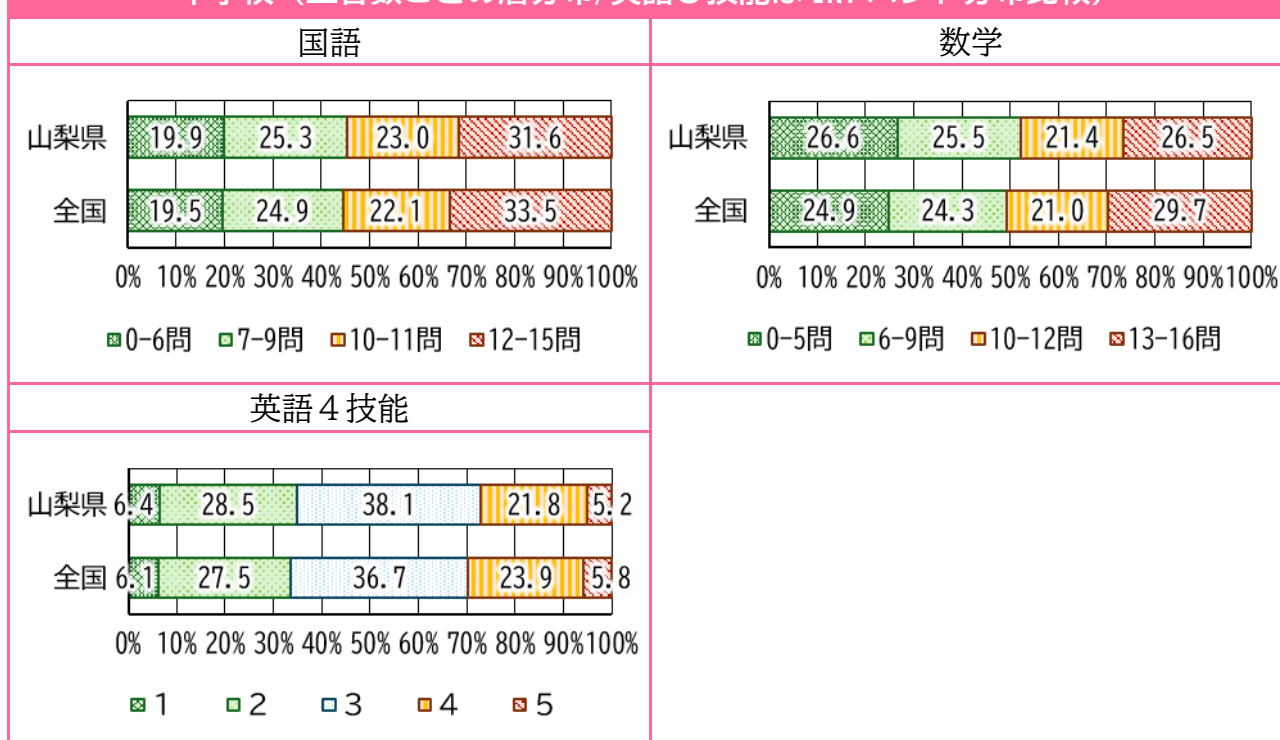


○全国及び本県（公立）の正答数・IRT バンドごとの層分布

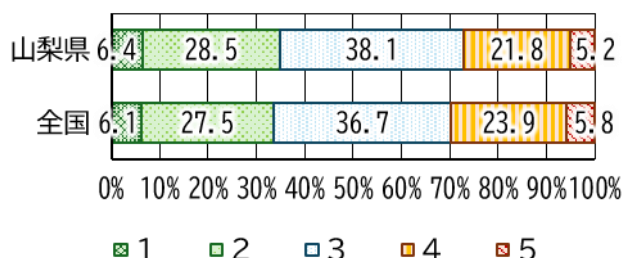
小学校（正答数ごとの層分布）



中学校（正答数ごとの層分布/英語 3 技能は IRT バンド分布比較）



英語 4 技能



※四層の区切りは、全国データの四分位による。学力層の分布を見ることで、学習指導要領の理念が浸透し、学力の状況に反映されているか、学力の水準が維持・向上しているか等、ちらばり具合によって、把握・分析する。

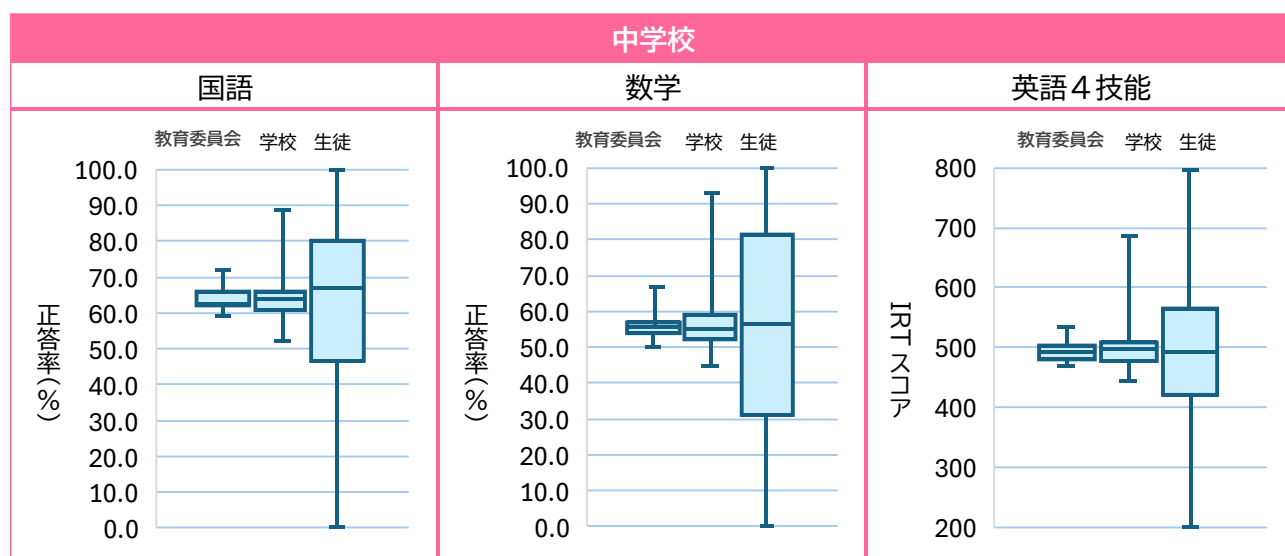
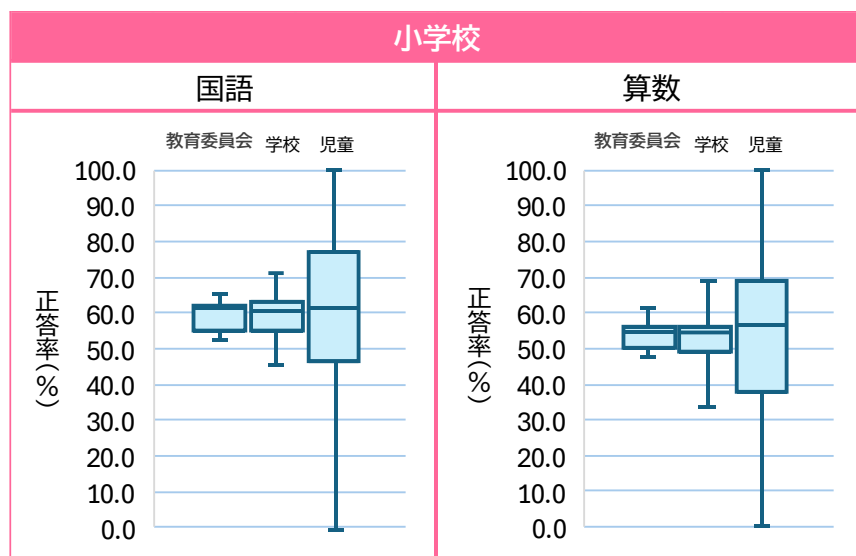
※IRT バンドとは、IRT スコアを 1～5 の 5 段階に区切ったもので、平均バンドは 3、最も高いバンドは 5 となる。各教科に CBT・IRT を導入する年の全国平均 3 を基準値とし、経年比較が可能な形で算出。IRT バンドは、生徒ごとに算出した IRT スコアを決められた幅に区切って設定。IRT バンドが理想的な正規分布となった場合、3 が約 40%、2・4 が約 23%、1・5 が約 7% となるが、実際の各生徒のスコア状況により変動する。

※本調査における IRT バンドのスコア換算（中学校 英語 4 技能）

中学校英語 IRT バンド	1	2	3	4	5
4 技能スコア換算	～341	342～448	449～556	557～663	664～

○山梨県内における様々な集計単位で見る正答数・IRT スコアのばらつき

- ・各集計単位の平均正答率・スコアのばらつきに大きな変化は見られない。
- ・教育委員会別の平均正答率・スコアについては、ばらつきの状況は狭い範囲に収まっている。



箱ひげ図



- 第3四分位数から、第1四分位数～第3四分位数の1.5倍の長さの中での最大値
- 第3四分位数（75パーセンタイル）
- 中央値（第2四分位数（50パーセンタイル））
- 第1四分位数（25パーセンタイル）
- 第1四分位数から、第1四分位数～第3四分位数の1.5倍の長さの中での最小値

パーセンタイル

計測値の統計的分布の上で、小さい方から数えて何%目の値は、どれくらいかという見方をする統計的表示法

(2) 質問調査

①児童生徒質問調査

○領域ごとの対応質問番号と山梨県のスコア（上段：小学校、下段：中学校）

※全国平均が 5.0 となるように標準化されており、その値が大きいほど、当該領域において、肯定的な回答割合が高いことを意味している。

＜令和8年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号	スコア
			全国基準
1	国語の学力		4.9
2	算数の学力		4.8
3	国語に関する意識	(52)(53)(55)	5.3
4	国語の学習活動	(54)(56)～(59)	5.5
5	算数に関する意識	(60)(61)(63)(64)	5.4
6	算数の学習活動	(62)(65)～(67)	5.4
7	英語に関する意識	(69)～(71)	5.4
8	英語の学習活動	(72)(73)	5.3

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を基準として比較したものである。
※領域番号3～8については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和8年度その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号	スコア
			全国基準
9	総合・学級活動・道徳	(47)～(51)	5.5
10	生活習慣	(1)～(4)	5.2
11	学習習慣	(23)(25)	4.9
12	読書等	(26)～(30)	5.3
13	主体的・対話的で深い学び	(38)～(42)(44)(46)	5.3
14	ICTを活用した学習状況	(35)(36-1)～(36-4)	5.3
15	自己有用感・心理的安全性等	(6)～(9)(13)(15)(17)(20)(21)	5.4
16	向社会性	(11)(12)(14)(33)	5.4
17	学びの自己調整	(22)(43)	5.2

※領域番号9～17については、「小学校児童質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和8年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号	スコア
			全国基準
1	国語の学力		5.1
2	数学の学力		5.1
3	英語の学力		5.0
4	国語に関する意識	(52)(53)(55)	5.0
5	国語の学習活動	(54)(56)～(59)	5.2
6	数学に関する意識	(60)(61)(63)(64)	4.8
7	数学の学習活動	(62)(65)～(67)	5.0
8	英語に関する意識	(69)(70)(72)(73)	5.0
9	英語の学習活動	(71)(74)～(76)(78)～(80)	4.9

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を、領域番号3については全国平均IRTスコアを基準として比較したものである。
※領域番号4～9については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和8年度その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号	スコア
			全国基準
10	総合・学級活動・道徳	(47)～(51)	5.6
11	生活習慣	(1)～(4)	5.2
12	学習習慣	(23)(25)	5.0
13	読書等	(26)～(30)	5.5
14	主体的・対話的で深い学び	(38)～(42)(44)(46)	5.4
15	ICTを活用した学習状況	(35)(36-1)～(36-4)	5.3
16	自己有用感・心理的安全性等	(6)～(9)(13)(15)(17)(20)(21)	5.4
17	向社会性	(11)(12)(14)(33)	5.4
18	学びの自己調整	(22)(43)	5.2

※領域番号10～18については、「中学校生徒質問対応領域・質問番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

全国平均と比べて引き続き高い傾向にある項目

○「生活習慣」領域（４問：１問新設）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。 **小：5.2 中：5.2**

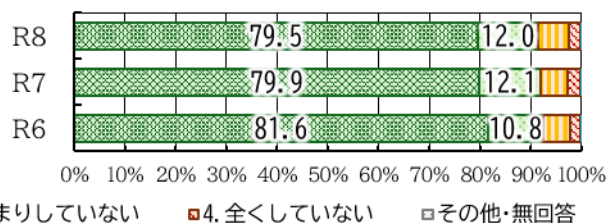
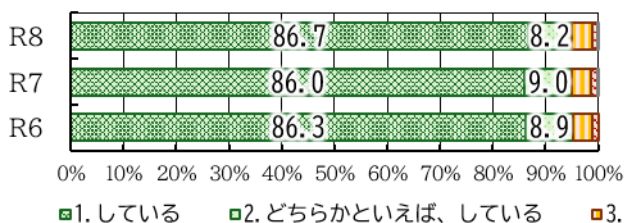
※上記スコアは、全国平均が5.0となるように標準化された山梨県のスコアを表す。以下、同様。

「朝食を毎日食べていますか」

【小学校】94.9% [+1.6]

【中学校】91.5% [+0.6]

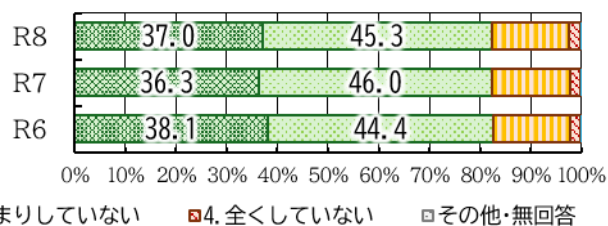
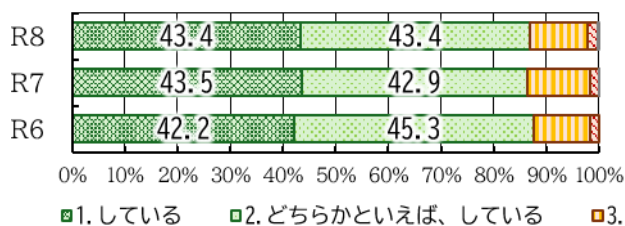
※上記数値は、令和８年度における山梨県の肯定的な回答の割合(%)と、全国との差(ポイント)を表す。以下、同様。



「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

【小学校】86.8% [+4.0]

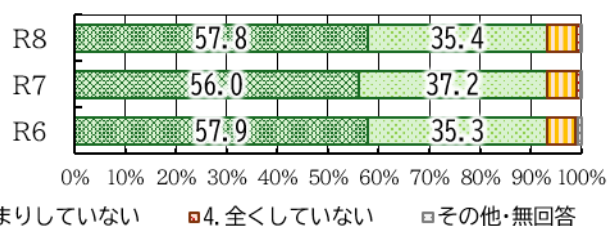
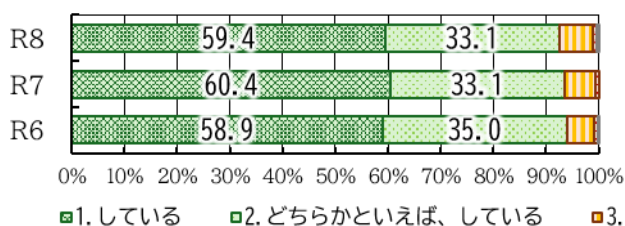
【中学校】82.3% [+1.8]



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

【小学校】92.5% [+1.8]

【中学校】93.2% [+0.8]

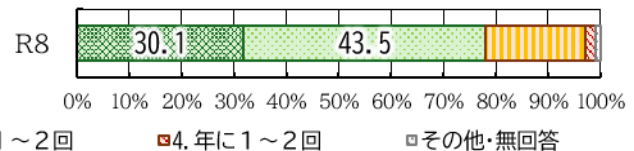
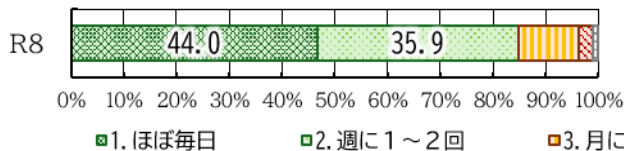


○「自己有用感・心理的安全性等」領域（9問：3問新設）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。
小：5.4 中：5.4

「学校の勉強のことに、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」【週1回以上】
(新設)

【小学校】79.9% [+4.9]

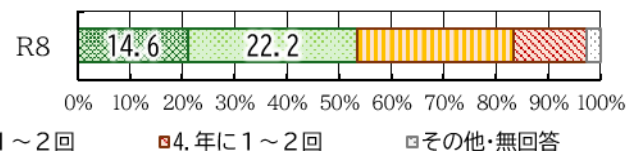
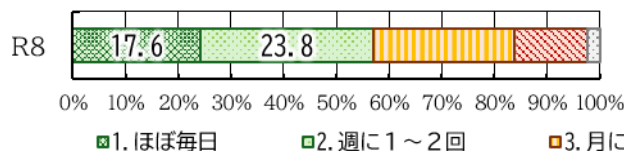
【中学校】73.6% [+1.4]



「学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」【週1回以上】
(新設)

【小学校】41.4% [+5.9]

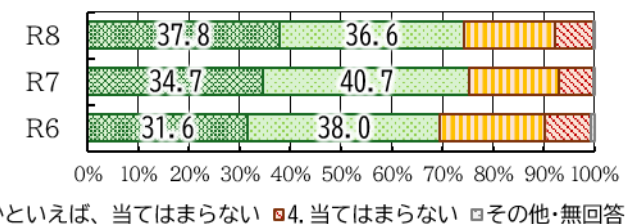
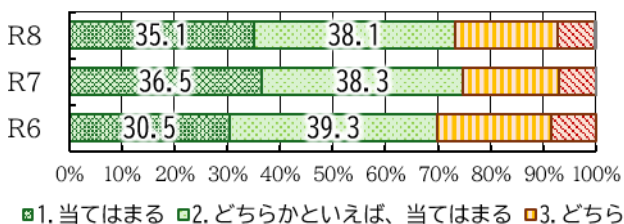
【中学校】36.8% [+0.4]



「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

【小学校】73.2% [+2.6]

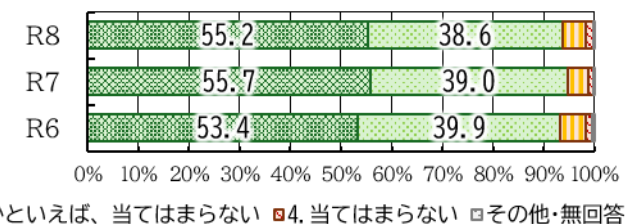
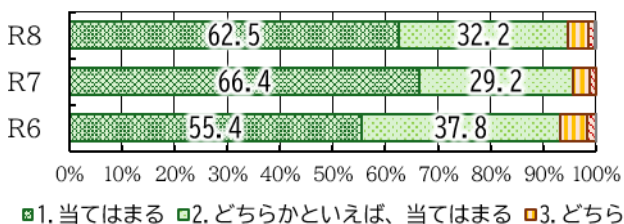
【中学校】74.4% [+2.5]



「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

【小学校】94.7% [+3.3]

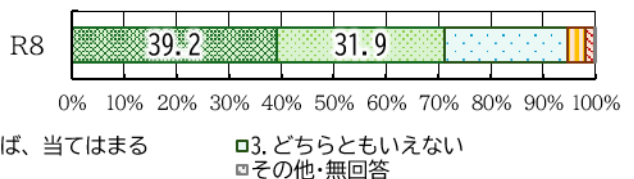
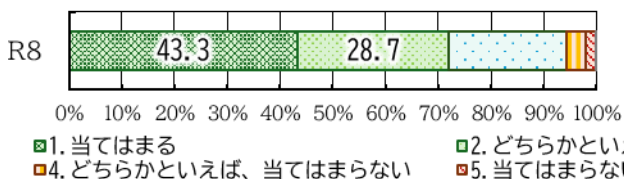
【中学校】93.8% [+2.9]



「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」(新設)

【小学校】72.0% [+2.4]

【中学校】71.1% [+3.6]

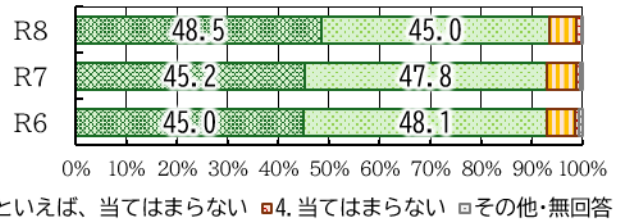
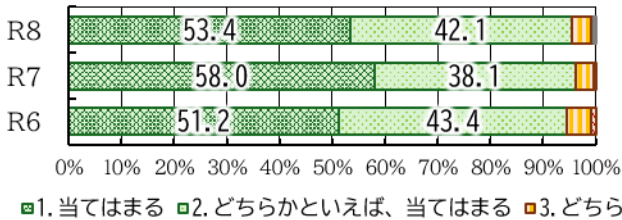


○「向社会性」領域（4問）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。
小：5.4 中：5.4

「人が困っているときは、進んで助けていますか」

【小学校】95.5% [+2.8]

【中学校】93.5% [+2.7]

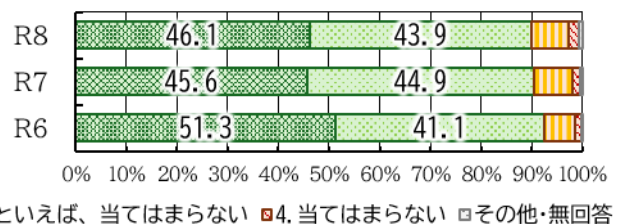
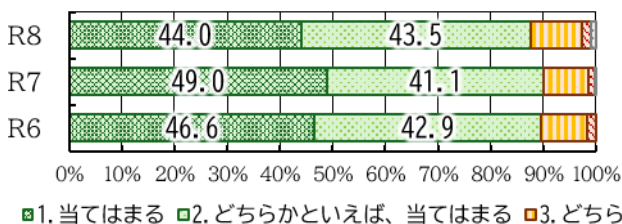


○「総合・学級活動・道徳」領域（5問：1問新設）のスコアについて、小学校中学校共通して、全国と比較しても高い結果が出ている。
小：5.5 中：5.6

「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

【小学校】87.5% [+6.0]

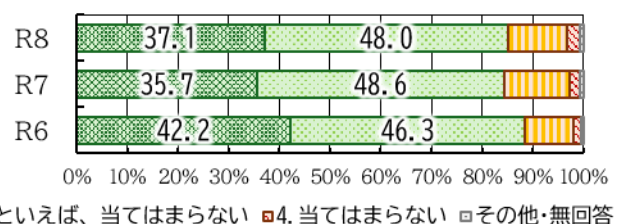
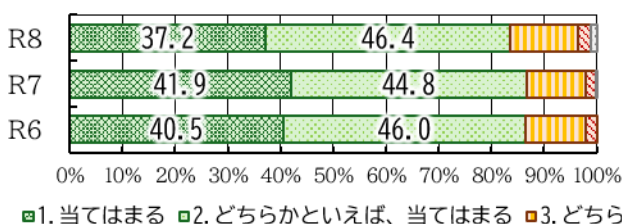
【中学校】90.0% [+5.5]



「学級会（学級活動）における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」

【小学校】83.6% [+6.3]

【中学校】85.1% [+7.3]

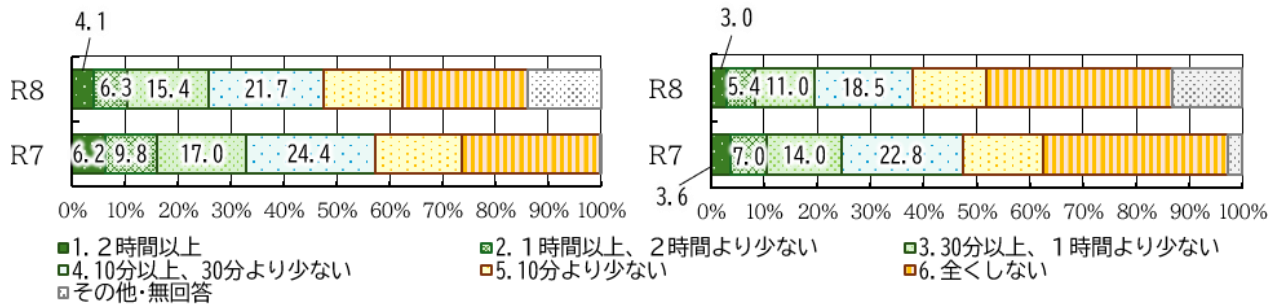


○「読書等」領域（5問：2問新設）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。（中学校は、全国と比較しても高い）
小：5.3 中：5.5

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」【10分以上】

【小学校】47.5% [+1.4]

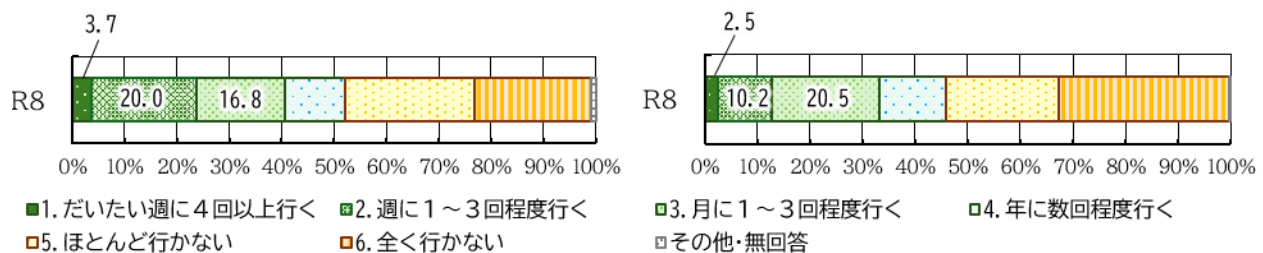
【中学校】37.9% [+4.3]



「昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか」【月に1回以上】（新設）

【小学校】40.5% [+5.6]

【中学校】33.2% [+15.0]



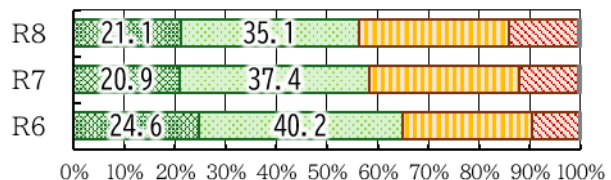
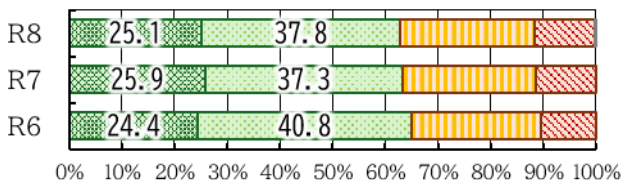
教科に関する項目

○「国語に関する意識」領域（３問）のスコアについて、小学校において、高い結果が出ている。
小：5.3 中：5.0

「国語の勉強は好きですか」

【小学校】62.9% [+5.5]

【中学校】56.2% [-1.0]



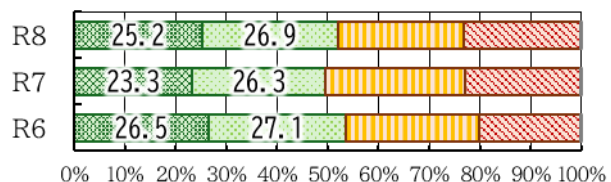
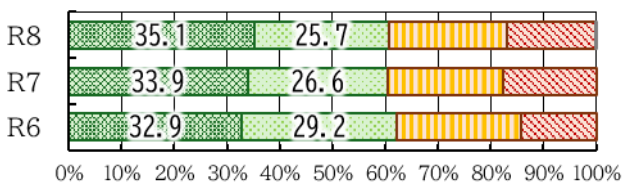
■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他・無回答

○「算数（数学）に関する意識」領域（４問）のスコアについて、小学校において、高い結果が出ているが、中学校において、低い結果が出ている。
小：5.4 中：4.8

「算数（数学）の勉強は好きですか」

【小学校】60.8% [+3.2]

【中学校】52.1% [-4.0]



■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他・無回答

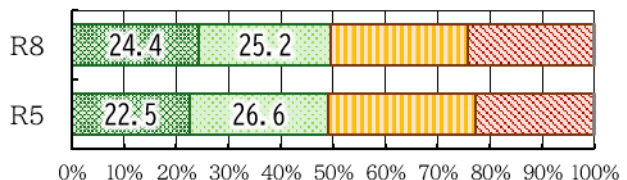
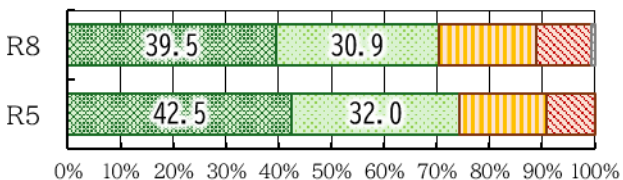
○「英語に関する意識」領域（小３問、中４問）のスコアについて、小学校において、高い結果が出ている。
小：5.4 中：5.0

「英語の勉強は好きですか」

※下のグラフは、前回の英語調査があった R5 年度データとの比較である。

【小学校】70.4% [+3.7]

【中学校】49.6% [-1.6]



■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他・無回答

○「国語の学習活動」領域（５問）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。（小学校は、全国と比較しても高い）
小：5.5 中：5.2

○「算数（数学）の学習活動」領域（４問）のスコアについて、小学校において、高い結果が出ている。
小：5.4 中：5.0

○「英語の学習活動」領域（小2問、中7問）のスコアについて、小学校において、高い結果が出ているが、中学校において、低い結果が出ている。
小：5.3 中：4.9

特徴的な傾向が見られる項目

○「ICT を活用した学習状況」領域（5問）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。
小：5.3 中：5.3

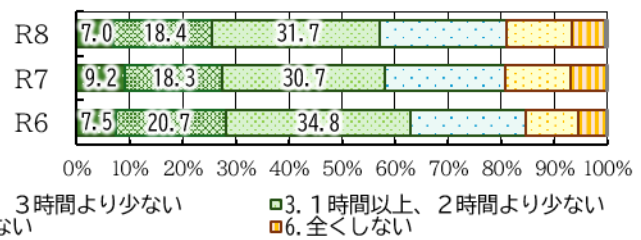
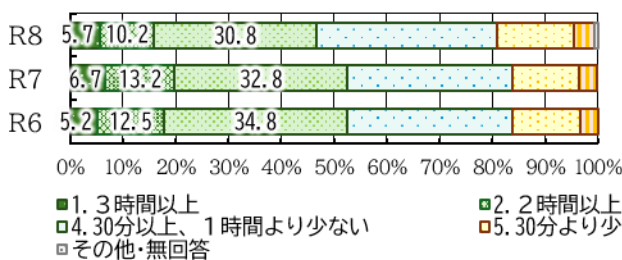
○「主体的・対話的で深い学び」領域（7問）のスコアについて、小学校中学校共通して、高い結果が出ている。
小：5.3 中：5.4

○「学習習慣」領域（2問）のスコアについて、小学校において、低い結果が出ている。
小：4.9 中：5.0

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」【1時間以上】

【小学校】46.7% [-3.2]

【中学校】57.1% [-4.5]

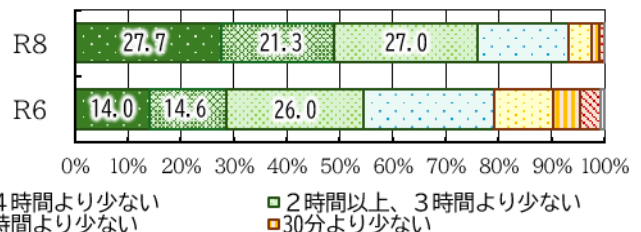
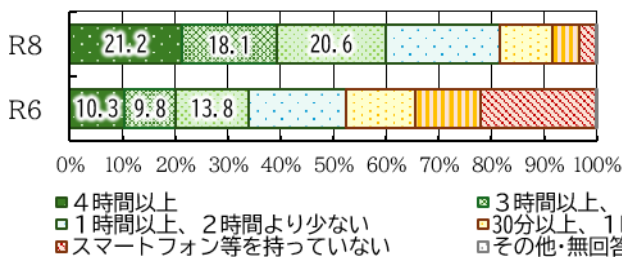


○「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」【2時間以上】の項目で、小学校中学校共通して、長時間使用している割合が全国平均を上回っている。

※下のグラフは、同様の内容の項目があった R6 年度データとの比較である。

【小学校】59.9% [+2.3]

【中学校】76.0% [+1.1]



②学校質問調査

肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている主な項目

○学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況に関する項目（１２問）のうち、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が、小学校中学校共通して、多くなっている。
小：９問　中：１０問

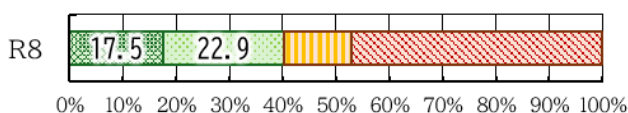
○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する項目（１３問）のうち、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が、小学校中学校共通して、多くなっている。
小：８問　中：８問

○総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法に関する項目（５問）のうち、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている項目が、小学校中学校共通して、多くなっている。
小：３問　中：５問

特徴的な傾向が見られる項目

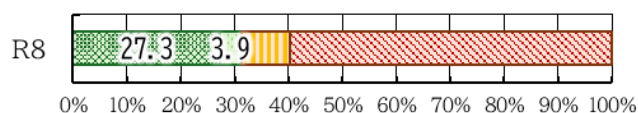
○「特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか」の項目で、小学校中学校共通して、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている。（新設）

【小学校】40.4% [+8.2]



■1. 全学年で実施している ■2. 一部の学年で実施している ■3. 実施に向けて検討している ■4. 実施していない ■5. その他・無回答

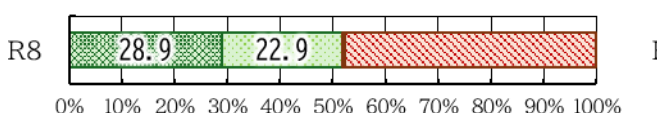
【中学校】31.2% [+9.7]



■1. 全学年で実施している ■2. 一部の学年で実施している ■3. 実施に向けて検討している ■4. 実施していない ■5. その他・無回答

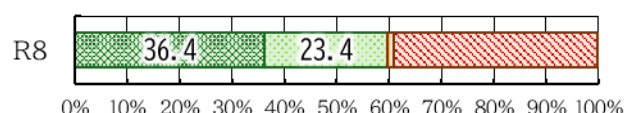
○「学校では、調査対象学年の児童生徒のうち、発達障害を含む障害のある児童生徒に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（４）学習内容の柔軟な変更や調整」の項目で、小学校中学校共通して、肯定的な回答の割合が高くなっている。（新設）

【小学校】51.8% [+1.6]



■1. 十分に行った ■2. 一部行った ■3. 全く行わなかった ■4. 該当する児童生徒がいなかった ■5. その他・無回答

【中学校】59.8% [+5.1]



■1. 十分に行った ■2. 一部行った ■3. 全く行わなかった ■4. 該当する児童生徒がいなかった ■5. その他・無回答

○「ICT 機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか」の項目（**新設**）で、小学校中学校共通して、肯定的な回答の割合が高くなっている。

【小学校】98.2% [−0.4]

【中学校】100% [+2.8]

○「児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（3）特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援」【週3回以上】の項目で、小学校中学校共通して、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている。

【小学校】48.8% [+2.9]

【中学校】57.2% [+10.6]

肯定的な回答の割合が全国平均を下回っている主な項目

○小学校教育と中学校教育の連携に関する項目（1問）で、小学校中学校共通して、肯定的な回答の割合が全国平均を下回っている。

【小学校】50.6% [−16.4]

【中学校】65.0% [−7.0]

近隣等の小学校中学校で、教育課程に関する共通した取組の充実を図る必要がある。

○家庭や地域との連携等に関する項目（4問）で、小学校において、肯定的な回答の割合が全国平均を下回っている。

小：4問 中：全て上回る

「コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童生徒が意見を表明することができる取組を行いましたか」

【小学校】30.2% [−15.8]

【中学校】58.5% [+9.5]

児童生徒が学校の運営や教育活動等に参画できるようなカリキュラムの工夫を行うなど、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組の充実を図る必要がある。

3 令和8年度の学力向上に向けた取組

《年間を通じた取組》

- 1 学力向上総合対策事業の推進
 - 学力向上推進事業（学力向上フォーラム、学力アカデミー等）
 - 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
 - Yamanashi English Action
 - 子供主体の授業実践推進事業
 - やまなし教育創造推進事業
 - 少人数教育の質の向上プラン推進事業
 - 教頭マネジメント支援員配置事業
 - 若手教員グローアップ事業
- 2 地域の実態に応じた取組の実施
 - ・地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進
- 3 指導主事による学校訪問
 - ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底
 - ・「子供主体の授業への転換」に向けた取組の推進
- 4 学級経営の充実にに向けた取組の推進
 - ・児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動を引き続き県全体で推進
- 5 ICTを活用した指導の充実にに向けた取組
 - ・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する研修会の開催
 - ・教育課程研究会の実践事例の周知

《各種学力調査実施後の取組》

- 6 県教委による採点及び各種説明会を通じた早期の授業改善の推進
 - ・自校採点の方法等についての資料を Web ページにて配信（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）
 - ・総合教育センター指導主事（小・中・高）による全国学力・学習状況調査の早期採点及び山梨大学と連携した結果分析
 - ・授業改善のための組織的な対応を促すため、全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえた「授業の改善・充実にに向けた説明会Ⅰ」をオンラインにて開催（小・中同日：6月18日）

- 7 「学力向上フォーラム2026」の開催（8月21日）
 - ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての教育研究推進幹による説明
- 8 各種学力調査の分析結果を反映させた説明会の実施
 - ・本県児童生徒の学力調査における実態と課題を共有するため、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、山梨県教育課程実施状況調査）の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅱ」をオンデマンドで配信及びオンラインにて開催
（8月25日から質問調査リーフレットと、その解説動画をオンデマンド配信。8月26日に各教科についてオンラインによる説明及び9月上旬にオンデマンド配信。）
 - ・山梨大学と連携した結果分析を基に授業の改善・充実に向けた資料を作成
 - ・各種研修会や学校要請訪問の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明
- 9 「学力調査からの授業デザイン」の作成と「ポータルサイト」による配信
 - ・学力調査で見られた課題に対応した、ポイントを絞った普段の授業に生かせる資料の掲載

1. 各教科の概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- ☒ 正 正答率が高いまたは低い主な設問
☒ 差 全国の正答率と差が見られる主な設問
☒ 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

小学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ ☒	【文章】の特徴として適切なものを選択する。[3]一]	76.5	76.7	話や文章の種類とその特徴について理解することができている。
	△ ☒	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。[2]四]	33.0	33.5	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	○ ☒	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く。[3](1)]	94.6	94.5	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくるができている。
	△ ☒ ☒ ☒	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ。[2](4)]	28.5	34.2	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことに課題がある。

中学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く。〔3〕二	92.4	92.3	表現の効果を考えて描写することができている。
	△ 正 経	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す。〔4〕二	32.5	35.2	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がある。
数学	○ 正	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く。〔1〕	83.0	85.7	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができている。
	△ 正 経	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する。〔7〕(2)	30.9	33.9	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
英語4技能	○ 正	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する。〔2〕	78.8	78.5	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができている。
	△ 正 経	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。〔10〕(2)	27.7	27.8	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことに課題がある。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の本県の結果

【質問内容の番号は各質問調査の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問調査

○全国平均と比べて引き続き高い傾向にある項目

※質問ごとのデータは、肯定的な回答の割合を上段に示し、下段に該当する全国平均との差を示している。

ただし、質問内容の文末に、【 】内に条件を示してある質問については、その条件に該当する回答の割合を上段に示している。(以下、同様)

質問項目		小学校	中学校
①「生活習慣」領域（4問：1問新設）のスコア		5.2	5.2
(1)	朝食を毎日食べていますか	94.9% +1.6	91.5% +0.6
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.8% +4.0	82.3% +1.8
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.5% +1.8	93.2% +0.8
(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）【2時間以上】	59.9% +2.3	76.0% +1.1
②「自己有用感・心理的安全性等」領域（9問：3問新設）のスコア		5.4	5.4
(6)	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか【週1回以上】	79.9% +4.9	73.6% +1.4
(7)	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか【週1回以上】	41.4% +5.9	36.8% +0.4
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	87.4% +1.8	86.6% +2.6
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.7% +3.3	93.8% +2.9
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	73.2% +2.6	74.4% +2.5
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.5% -0.2	86.5% +1.1
(17)	友達関係に満足していますか	91.6% +0.5	92.0% +0.8
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	72.0% +2.4	71.1% +3.6
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	94.1% +1.6	92.4% +1.4
③「向社会性」領域（4問）のスコア		5.4	5.4
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	95.5% +2.8	93.5% +2.7
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.4% +1.2	95.8% +0.7
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.6% +0.8	96.3% +0.4
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	82.5% +2.4	73.5% +1.2

質問項目		小学校	中学校
④「総合・学級活動・道徳」領域（5問：1問新設）のスコア		5.5	5.6
(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	83.5% +3.6	83.0% +2.2
(48)	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	83.5% +3.8	84.9% +3.2
(49)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87.5% +6.0	90.0% +5.5
(50)	学級会（学級活動）における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	83.6% +6.3	85.1% +7.3
(51)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	89.8% +2.9	94.1% +2.8
⑤「読書等」領域（5問：2問新設）のスコア		5.3	5.5
(26)	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）【10分以上】	47.5% +1.4	37.9% +4.3
(27)	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか【月に1回以上】	40.5% +5.6	33.2% +15.0
(28)	放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか【月に1回以上】	16.4% +0.2	7.7% +0.7
(29)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）【101冊以上】	26.5% -4.2	28.1% -3.1
(30)	新聞をどれくらい読んでいますか【週に1回以上】	9.6% -0.4	7.4% +1.2

○教科に関する項目

質問項目		小学校	中学校
①「国語に関する意識」領域（3問）のスコア		5.3	5.0
(52)	国語の勉強は得意ですか	64.1% +3.7	52.8% +1.2
(53)	国語の勉強は好きですか	62.9% +5.5	56.2% -1.0
(55)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.4% +2.0	88.8% +0.6
②「算数・数学に関する意識」領域（4問）のスコア		5.4	4.8
(60)	算数・数学の勉強は得意ですか	62.9% +2.8	42.7% -5.8
(61)	算数・数学の勉強は好きですか	60.8% +3.2	52.1% -4.0
(63)	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.3% +1.3	74.5% -2.0
(64)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか	85.6% +2.4	63.1% +0.1
③「英語に関する意識」領域（小3問、中4問）のスコア		5.4	5.0
(69)	英語の勉強は得意ですか	63.0% +3.2	37.5% -2.0
(70)	英語の勉強は好きですか	70.4% +3.7	49.6% -1.6

質問項目		小学校	中学校
中(72)	中) 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		87.7%
			+0.1
小(71)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	46.8%	32.2%
中(73)		+1.4	-1.9
④「国語の学習活動」領域（５問）のスコア		5.5	5.2
(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか	84.1%	77.3%
		+2.6	+0.5
(56)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	84.6%	76.2%
		+6.5	+3.2
(57)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	83.3%	75.1%
		+8.2	+3.3
小(58)	小) ５年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか	84.4%	
		+3.7	
小(59)	小) ５年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	80.9%	
		+2.6	
中(58)	中) １、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか		87.1%
			+2.3
中(59)	中) １、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか		79.1%
			+3.0
⑤「算数・数学の学習活動」領域（４問）のスコア		5.4	5.0
(62)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.1%	70.5%
		+2.6	-3.7
(65)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	85.0%	78.1%
		+3.3	+0.3
(66)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	66.7%	60.5%
		+3.7	+0.1
小(67)	小) ５年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか	91.0%	
		+2.7	
中(67)	中) １、２年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか		67.8%
			-0.6
⑥「英語の学習活動」領域（小２問、中７問）のスコア		5.3	4.9
中(71)	中) 英語の授業の内容はよく分かりますか		63.6%
			-0.6
中(74)	中) キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか		75.7%
			-1.0
小(72)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	46.3%	
		+0.1	
中(75)	これまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、（オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）		34.1%
			-2.5
小(73)	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を読んだり英語を話す練習をしたりしていますか【週１回以上】	31.7%	20.3%
中(76)		+2.0	-4.2
中(78)	中) １、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか		84.3%
			-0.8

質問項目		小学校	中学校
中(79)	中) 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか		82.4%
			-0.4
中(80)	中) 1、2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行っていましたか		60.1%
			-1.2

○特徴的な傾向が見られる項目

質問項目		小学校	中学校
①「ICTを活用した学習状況」領域（5問）のスコア		5.3	5.3
(35)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】	70.9%	81.2%
		+2.1	+3.0
(36-1)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか	82.9%	86.5%
		+3.8	+1.7
(36-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか	86.7%	91.6%
		+1.8	+0.7
(36-3)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか	71.4%	69.3%
		+1.9	-0.1
(36-4)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	79.8%	81.4%
		+5.2	+1.4
②「主体的・対話的で深い学び」領域（7問）のスコア		5.3	5.4
(38)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	70.4%	72.4%
		+4.0	+6.9
(39)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	78.2%	80.8%
		+0.6	+2.0
(40)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	75.1%	73.1%
		+1.7	+2.3
(41)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.7%	81.6%
		+2.9	+2.7
(42)	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	87.8%	88.8%
		+2.1	+1.8
(44)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っていますか	84.3%	80.1%
		+3.5	+2.1
(46)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	93.4%	93.6%
		+2.0	+1.2
③「学習習慣」領域（2問）のスコア		4.9	5.0
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【1時間以上】	46.7%	57.1%
		-3.2	-4.5
(25)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【1時間以上】	12.2%	27.5%
		-4.9	-2.4
質問項目【※再掲】		小学校	中学校
(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）【2時間以上】	59.6%	76.0%
		+2.3	+1.1

(2) 学校質問調査

○肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている主な項目

質問項目		小学校	中学校
①学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況（１２問）			
(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか【月１回以上】	69.2% -10.3	67.6% +2.4
(15)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか【月１回以上】	83.1% -6.3	79.3% +0.3
(16)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100.0% +0.4	98.7% -0.6
(17)	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	98.2% +0.9	98.7% +2.8
(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	98.2% +0.4	98.7% +5.0
(19)	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか	98.8% -0.5	98.7% -0.4
(20)	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いですか	95.2% +3.3	94.8% +4.1
(21)	教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか	100.0% +0.7	100.0% +1.0
(22)	特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか	40.4% +8.2	31.2% +9.7
(23)	ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていますか	94.6% +6.2	89.7% +3.6
(24)	児童生徒にとって、学校施設全体として、児童生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか	89.8% +6.5	91.0% +9.8
(25)	教職員にとって、学校施設全体として、教職員が働きやすく、居心地のよい建物だと思いますか	86.1% +5.6	85.8% +7.0
②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況（１３問）			
(26)	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	86.2% -1.9	88.3% +1.1
(27)	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	82.6% +3.7	80.5% -0.9
(28)	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	89.8% +2.0	94.8% +5.4
(29)	調査対象学年の児童生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか	97.0% +3.8	98.7% +3.8
(30)	調査対象学年の児童生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	65.1% +0.7	52.0% -4.7
(31)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	91.5% +0.3	80.5% -7.0
(32)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	95.8% +0.6	96.1% +1.5
(33)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	87.9% -1.6	84.4% -1.0

質問項目		小学校	中学校
(34)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	83.7% -4.4	90.9% +4.8
(35)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行いましたか	91.6% -0.1	90.9% +0.3
(36)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	83.1% -3.9	77.9% -2.0
(37)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	86.1% +1.1	83.1% +0.6
(38)	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか【月1回以上】	88.5% +0.8	76.7% +9.8
③総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道德の指導方法（5問）			
(39)	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	95.2% +1.9	94.9% +3.6
(40)	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、児童生徒一人一人がICT機器を活用することにより、探究の過程の質が向上することを意識した指導をしていますか	96.4% +0.8	97.4% +3.5
(41)	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	96.4% +2.7	97.4% +3.9
(42)	調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	92.2% -0.5	94.8% +2.9
(43)	調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道德において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	95.8% -0.6	98.7% +1.9

○特徴的な傾向が見られる項目

質問項目【※（22）は再掲】		小学校	中学校
(22)	特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか	40.4% +8.2	31.2% +9.7
小(74-4) 中(82-4)	学校では、調査対象学年の児童生徒のうち、発達障害を含む障害のある児童生徒に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（4）学習内容の柔軟な変更や調整	51.8% +1.6	59.8% +5.1
小(69) 中(77)	ICT機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか	98.2% -0.4	100% +2.8
小(70-3) 中(78-3)	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（3）特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援【週3回以上】	48.8% +2.9	57.2% +10.6

○肯定的な回答の割合が全国平均を下回っている主な項目

質問項目		小学校	中学校
①小学校教育と中学校教育の連携（１問）			
小(76) 中(84)	前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	50.6% -16.4	65.0% -7.0
②家庭や地域との連携（４問）			
小(77)	小) 職場見学を行っていますか	31.9% -10.1	
中(85)	中) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか【１日以上】		
小(78) 中(86)	コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童生徒が意見を表明することが出来る取組を行いましたか	30.2% -15.8	58.5% +9.5
小(79) 中(87)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	88.0% -1.1	88.3% +3.9
小(80) 中(88)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思いますか	78.9% -7.3	84.4% +2.5